

# 肥沼守

## 作品展示加盟店 | 和泉屋、レストラン シャルドネ

1968年神奈川県川崎市に生まれる。多摩美術大学絵画科油画専攻を卒業後、イタリア旅行で見た中世フレスコ画に感銘を受け、同大学院でフレスコ画を研究する。2019年より黄金町AIRに参加。人物や動物のイメージに雲や星といったモチーフを配した、物語性のある幻想的な世界観をフレスコ画で表現している。近年では、画廊での作品発表に加え、ワークショップや公開制作、フレスコ画以外の手法でパブリックスペースでの展示にも取り組んでいる。

主な展覧会に「雲をはこぶ日」(銀座光画廊、東京、2021年)、「黄金町バザール 2021ーサイドバイサイドの作り方ー」(黄金町エリア、横浜、2021年)、「幻想動物園」(横浜高島屋美術画廊、横浜、2019年)

現在 黄金町長期レジデンスアーティスト 国画会会員 日本美術家連盟会員。